

令和5年6月2日

財務金融委員会 質問要旨

立憲民主党

階 猛

- ①「防衛財源確保法案」では、5年間で43兆円の防衛力整備のための財源確保のうち17.1兆円分は国債に頼らず、残り25.9兆円分の一部について建設国債発行による財源調達を行うとのことだが、PBを黒字化すれば政策経費を国債発行でまかなう必要はないのではないか（財務大臣）
  
- ②本年1月30日の予算委員会で、防衛費だけでなく子供・子育て予算、金利上昇に伴う国債費の増加などを考慮した中期財政フレームの提出を求めた。総理は「国民の皆さんに説明するための資料を作っていくたい」と答弁したが、その後どうなったのか（財務大臣）
  
- ③日銀の国庫納付金の過去10年の推移と直近決算で2兆円に膨らんだ理由  
(日本銀行総裁)
  
- ④金融政策の正常化に備えて債券損失、外為損失に備えた積立金の積み増しをしない理由（日本銀行総裁）
  
- ⑤日銀の国庫納付金の急増による国の決算剰余金の増加分は防衛財源に充てられるか（財務大臣）
  
- ⑥現状の日銀の財務内容を勘案すれば、日銀の金融政策は積立金の承認権を持つ政府がコントロールできるのではないかと（財務大臣、日本銀行総裁）

以 上

・資料は追って提出